

住民主体の集いの場

閉店した自宅の空きスペースを活用し、地域で初めて住民主体の集いの場を創設。備品も持ち寄りや廃校した中学校のテーブルや椅子をリサイクルして使用している。

住民主体の集いの場

集って、笑って、地域に恩返し！

◎経緯 『八雲町熊石地域の高齢化率は54%を超えていますが皆さん頑張っています！』閉店した個人宅の空きスペースの活用を家主に相談すると「地域のためになるようなことをしたいと思っていた」とのことで、家主自ら近所に声をかけ地域包括支援センターも協力し地域で初めて住民主体の集いの場が完成した。
この活動をきっかけに集いの場が拡散し新たに3ヶ所の集いの場が立ち上がった。

◎準備について
持ち寄りや、廃校になった中学校の備品を活用し、役場OBの方にも協力してもらい椅子やテーブル、カーペットを設置！

◎概要
名称：『サロンすずらん』
開催曜日：毎週水曜日（誰でも参加OK！）
参加人数：平均8人（60歳～75歳代）
参加費：1000円
活動内容：軽体操、創作活動、茶話会



集いを通して意欲が向上！
もっと地域に貢献したい！！



完成！

使わない着物を解いて小学生のスクールバス停留所へ座布団を作成し寄付することで地域に恩返し！

自作の看板
サロン？は
ご愛嬌（笑）

サロンすずらんの目的
みんなが気軽に楽しめるお茶飲の場
次世代へ継承
個人情報やプライバシーの保護を努める

子供たちは喜んでくれるかな？

